

## 山形県県土整備部簡易Ⅱ型総合評価落札方式における事後審査実施要領

### (趣旨)

第1条 この要領は、県土整備部が所掌する建設工事に係る簡易Ⅱ型総合評価落札方式の実施において、技術資料及び入札参加資格の審査を開札後に優位の入札参加者から行い、適格の場合に落札決定する方式（以下「事後審査」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (対象工事)

第2条 総合評価落札方式簡易Ⅱ型の工事は事後審査を適用するものとする。ただし、知事又は山形県事務代決及び専決事務に関する規程（昭和28年12月21日山形県訓令第49号）第4条の規定による工事請負の支出負担行為に関する専決者が、事後審査によらないことが必要と認めた工事の場合はこの限りでない。

### (自己評価申請書の提出)

第3条 入札参加者は自身の技術資料について、入札公告、入札説明書及び総合評価落札方式運用ガイドラインをもとに、評価項目及び評価基準等を十分確認の上、自ら評価した加算点（以下「自己評価点」という。）を技術資料に係る自己評価申請書（事後様式1）に記入し、入札公告に定めるところにより当該申請書を提出するものとする。自己評価点は、開札後に行う入札参加者の審査順を決定する際に用いられ、また、事後審査の際には加算点の上限値となるので、適正かつ誠実に記入するものとする。なお、自己評価申請書を提出しない者及び当該申請書に予め記載された最大評価点を超える自己評価点を記載した者は、本入札の参加資格を失うものとする。

### (技術資料の審査)

- 第4条 技術資料の審査は、記載事項の確認、評価項目及び評価基準との照合を行うものとする。
- 2 当該工事を所管する課長等（以下「所管課長」という。）は、入札参加者の技術資料の審査については、開札後に、予定価格の範囲内で入札した者のうち、入札価格と自己評価点により算定される評価値の最も高い者について行うものとする。ただし、審査後の加算点は入札参加者の自己評価点を限度とし、審査後の加算点が自己評価点を下回る場合は審査後の加算点とする。
  - 3 前項の審査の結果、評価値の第1位の者に変動が生じた場合は、変動後の評価値の最も高い者について前項の審査を行い、評価値の第1位の者が決定するまで、前項の審査を順次繰り返すものとする。
  - 4 所管課長は、技術資料の審査に疑義が生じた場合は、山形県県土整備部所管事業入札参加者選定等審査会（以下「審査会」という。）に諮り、当該審査会で審査するものとする。

### (落札者の決定方法)

- 第5条 入札を執行する者（以下「入札執行者」という。）は、前条の規定により審査後の評価値が最も高い者を落札候補者とする。なお、落札候補者が2者以上であるときは、その複数の者を落札候補者とする。
- 2 入札執行者は、開札後、落札決定を保留し、前項の落札候補者の入札参加資格について、予め提出された一般競争入札参加資格確認申請書により確認を行う。
  - 3 入札執行者は、入札参加資格に疑義が生じた場合は、審査会に諮り、当該審査会の審議により入札参加資格の有無を決定する。
  - 4 低入札価格調査において、調査基準価格を下回る価格の落札候補者について調査の結果、失格と判断された場合は、落札者とししない。
  - 5 落札候補者が、第2項又は第3項の規定により、入札参加資格を有することが確認又は決定された

とき、かつ前項に該当しないときは、当該者を落札者に決定するものとする。ただし、当該者が2者以上となったときは、くじを引かせて落札者を決定するものとする。

6 落札候補者が、第2項若しくは第3項の規定により、入札参加資格を有しないことが確認若しくは決定されたとき、又は第4項に該当するときは、当該者を除いて、前条及び前各項の規定による審査等を落札者が決定するまで順次繰り返すものとする。

7 落札者の決定は、開札日から起算して原則として4日以内（山形県の休日を定める条例（平成元年3月県条例第10号）に規定する県の休日（以下「県の休日」という。）を除く。）に行うものとする。

8 入札者名、入札金額、落札者名及び落札金額の公表は、入札結果（事後審査）（事後様式3）により行うものとする。

#### （技術資料審査結果に係る説明要求）

第6条 第4条の技術資料の審査を受けた者で、自身の自己評価点が入札結果に示された加算点と相違があった者は、落札者の決定の日から起算して4日以内（県の休日を除く。）にその理由についての説明を求めることができるものとする。

2 前項の規定により説明を求めた者に対して、所管課長は、説明要求を受理した日の翌日から起算して3日以内（県の休日を除く。）に技術資料審査結果に係る説明書（事後様式2）により回答するものとする。

#### （手続）

第7条 公告から契約締結までの手続及び所要日数は、別紙簡Ⅱ1-1及び別紙簡Ⅱ1-2を標準とする。

#### （様式等）

第8条 自己評価申請書等の様式等については、次の表によるものとする。

	様式等	備考
技術資料に係る自己評価申請書	事後様式1	
技術資料	様式総合簡Ⅱ1	技術資料提出書
	様式総合2	企業の能力
	様式総合3	技術者の能力
	様式総合4	地域貢献度
技術資料審査結果に係る説明書	事後様式2	
入札結果（事後審査）	事後様式3	
手続	別紙簡Ⅱ1-1	
	別紙簡Ⅱ1-2	
開札後のフロー	別紙簡Ⅱ1-3	

（備考）様式総合簡Ⅱ1、様式総合2～4は「総合評価落札方式運用ガイドライン」による。

#### （その他）

第9条 この要領に定めのない事項については、「山形県建設工事一般競争入札（条件付）実施要綱」及び「山形県県土整備部建設工事一般競争入札における総合評価落札方式実施要綱」の関係規定の定めによるものとする。また、これにより難しい事項については、必要に応じて別に定めるものとする。

## 附 則

- この要領は、平成23年5月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、平成23年8月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、平成24年5月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、平成25年5月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、平成26年1月6日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、平成26年5月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、平成27年7月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、平成30年7月17日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、令和元年7月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、令和2年7月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、令和3年3月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、令和3年3月29日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、令和3年4月1日から適用する。
- この要領の一部改正は、令和3年7月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、令和4年7月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、令和5年1月1日以後に契約予定の入札公告を行う工事から適用する。
- この要領の一部改正は、令和5年7月1日以後に入札公告を行う工事から適用する。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度				合計
	(類似工事実績) (過去15年間)	(工事成績) (過去5年評定)	(工事顕彰歴) (過去2年度)	(類似工事経験) (過去15年間)	(工事成績) (過去5年評定)	(継続教育) (過去2年度)	(ICT活用) 無の週ICT 実休2日 施証明書の 有工事、	災害協定等の締結	(ボランティア等) (過去2年度)	(災害復旧工事) (過去2年度)	(道路除雪業務) (過去2年度)	
最大評価点	2	2	1	2	2	1	1[2]	2	2	1	1	17[18]
自己評価点												0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4				
発注者チェック欄												

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度					合計
	(類似工事実績) (過去1年5年間)	(工事実績) (過去5年)	(工事顕彰) (過去2年)	(類似工事経験) (過去1年5年間)	(工事実績) (過去5年)	(継続教育) (過去2年)	(ICT活用) (ICT活用の実績、無休日、証明書の有無)	災害協定等の締結	(ボランティア等) (過去2年)	(災害復旧工事) (注) (過去2年)	(道路除雪業務) (実績) (過去2年)	作業船の保有	
最大評価点	2	2	1	2	2	1	1[2]	2	2	1	1	1	18[19]
自己評価点													0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4					
発注者チェック欄													

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度				合計
	(類似工事実績) (過去1年5年間)	(工事実績) (過去5年)	(工事顕彰) (過去2年)	(工事実績) (過去5年)	(継続教育) (過去2年)	(若手・女性技術者の配置)	(ICT活用) (無休2日以上の工事)	(災害協定等の締結)	(ボランティア等) (過去2年)	(災害復旧工事の受注実績) (過去2年)	(道路除雪業務の実績) (過去2年)	
最大評価点	2	2	1	2	1	2	1[2]	2	2	1	1	17[18]
自己評価点												0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4				
発注者チェック欄												

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度					合計
	(類似工事実績) (過去1年5年間)	(工事実績) (過去5年)	(工事顕彰) (過去2年)	(工事実績) (過去5年)	(継続教育) (過去2年)	若手・女性技術者の配置	ICT活用工事の有無	災害協定等の締結	(ボランティア等) (過去2年)	(災害復旧工事の受注実績) (過去2年)	(道路除雪業務の実績) (過去2年)	作業船の保有	
最大評価点	2	2	1	2	1	2	1[2]	2	2	1	1	1	18[19]
自己評価点													0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4					
発注者チェック欄													

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度					合計
	(種施 過工工 去事実 1績 5(指 年間定 工)	(工 過事 去成 5績 年評 度定)	(工 過事 去顕 2彰 年歴)	(種施 過工工 去事経 1験 5(指 年間定 工)	(工 過事 去成 5績 年評 度定)	(継 過C 去続 2P教 年育)	無の週 I 実休 C 施 2 T 証日活 明確用 書の保工 の工事 有工事、	災害協 定等の 締結	(等 過の 去実 2績 年 度)	ポ イン ラン ティ ア等 プ、	(注 過の 去実 2績 年 度)	災 害復 旧工 事の 受	
最大評価点	2	2	1	2	2	1	1[2]	2	2	1	1	1	18[19]
自己評価点													0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4					
発注者チェック欄													

(備考)

1. 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
2. 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
3. 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
4. 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

工事名

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度					合計	
	(種施工実績(指定工事)1-5年間)	(工事成績年評定)	(工事顕彰年歴)	(種施工経験(指定工事)1-5年間)	(工事成績年評定)	(継続教育(CPD)2年度)	無の週ICT活用工事、実施工証明書の有	災害協定等の締結	(等の実績)2年度)	ポランテシア等、インテンシブ	(注)災害復旧工事の受	(績)道路除雪業務の実		在)主たる営業所の所
最大評価点	2	2	1	2	2	1	1[2]	2	2	1	1	1	1	19[20]
自己評価点														0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4						
発注者チェック欄														

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
 商号又は名称  
 代表者氏名  
 ( 連絡者  
 氏名  
 電話番号 )

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度				合計
	(似施工実績(同種・類)過去15年間)	(工事成績評定)過去5年度)	(工事顕彰歴)過去2年度)	用BIMT、CIMの活	(似施工経験(同種・類)過去15年間)	(工事成績評定)過去5年度)	(継続教育)CPD(過去2年度)	施休I証2CT日活用工事の、実週	災害協定等の締結	(実績)ボランティア等、のイ(過去2年度)	(の災害復旧工事の受注)過去2年度)	(道路除雪業務の実績)過去2年度)	
最大評価点	2	2	1	1	2	2	1	2<1>	2	2	1	1	19<18>
自己評価点													0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4				
発注者チェック欄													

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における< >内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望I型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度				合計	
	(似施工実績(同種・類) 過去1-5年間)	(工事成績(年度) 過去5年)	(工事顕彰(年度) 過去2年)	用BIM/CTMの活	(似施工経験(同種・類) 過去1-5年間)	(工事成績(年度) 過去5年)	(継続教育(CPD) 過去2年)	施休I 証2CT 明書確活用 有工事の 無工事の 実週	災害協定等の締結	(実績) ボラン ティア等 のイ (過去2年度)	(の災害復旧工事の受注) (過去2年度)	(道路除雪業務の実績) (過去2年度)		作業船の保有
最大評価点	2	2	1	1	2	2	1	2<1>	2	2	1	1	1	20<19>
自己評価点														0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4					
発注者チェック欄														

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における< >内の数値は、BIM/CTM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度				合計	
	(似施工実績(同種・類)過去15年間)	(工事成績(年度)過去5年)	(工事顕彰歴(年度)過去2年)	用BIM/ CIMの活	(継続教育(CPD)(年度)過去2年)	配置若手・女性技術者の	施工2CT活用工事の実週	災害協定等の締結	(実績)ボランティア等、のイ	(の災害復旧工事の受注)過去2年度)	(道路除雪業務の実績)過去2年度)		
最大評価点	2	2	1	1	2	1	2	2<1>	2	2	1	1	19<18>
自己評価点													0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4					
発注者チェック欄													

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における< >内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度				合計	
	(似施工実績(同種・類)過去1-5年間)	(工事成績年度評定)過去5年	(工事顕彰年度)過去2年	用BIM/MT、CIMの活用	(工事成績年度評定)過去5年	(継続教育(CPD))過去2年	若手・女性技術者の配置	施工2CIT活用工事の実週	災害協定等の締結	(実績)過去2年度	(ポータルサイト等)過去2年度	(災害復旧工事)の受注実績過去2年度		(道路除雪業務)の実績過去2年度
最大評価点	2	2	1	1	2	1	2	2<1>	2	2	1	1	1	20<19>
自己評価点														0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4					
発注者チェック欄														

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における〈 〉内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望I型」における最大評価点。

山形県知事 殿

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

工事名

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度					合計
	(種 過工 去事 1績 5指 年定 間工)	(工 過事 去成 5績 年評 度定)	(工 過事 去顕 2彰 年歴 度)	活 用B I C M T / C I M の	(種 過工 去工 1経 5験 年指 間定 工)	(工 過事 去成 5績 年評 度定)	(繼 過C 去P 2D 年教 度育)	無 の週 実休 施2 証日 明確 書保 の工 有工事 、	災 害協 定等 の締 結	(等 過の 去実 2績 年績 度)	イ ボ ラン タ ー シ ン シア 等 プ	(注 過の 去災 2害 年復 度旧 工 事 の 受	(績 過道 去路 2除 年雪 度業 務 の 実	
最大評価点	2	2	1	1	2	2	1	2<1>	2	2	1	1	1	20<19>
自己評価点														0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4					
発注者チェック欄														

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における< >内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

工事名

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度					合計	
	(種施工実績(指定工事)1-5年間)	(工事成績5年評定)	(工事顕彰2年度)	BIM/CTMの活用	(種施工経験(指定工事)1-5年間)	(工事成績5年評定)	(継続教育)2年度	ICT活用工事、無休日確保の週2以上実施証明書の有無	災害協定等の締結	(ボランティア等)の実績2年度	(災害復旧工事の注)の実績2年度	(道路除雪業務の績)2年度	主たる営業所の所在地		作業船の保有
最大評価点	2	2	1	1	2	2	1	2<1>	2	2	1	1	1	1	21<20>
自己評価点															0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4						
発注者チェック欄															

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における〈 〉内の数値は、BIM/CTM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度		合計
	(施工実績 （過同種1・5年間））	(工事成績 （過去5年度））	(工事顕彰 （過去2年度））	(施工経験 （過同種1・5年間））	(工事成績 （過去5年度））	(継続教育 （過去2年度） （CPD））	(ICT活用 （有無） （工事の実施 証明書2 週休2）	災害協定等の締結	(ボランティア （過去2年度） 等の実績	
最大評価点	2	2	1	2	2	1	1[2]	2	2	15[16]
自己評価点										0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4		
発注者チェック欄										

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度			合計
	(施工実績 （過同種 去1・類 5年似 間工 事）	(工事成績 （過去 5年評 定）	(工事顕彰 （過去 2年歴 度）	(施工経験 （過同種 去1・類 5年似 間工 事）	(工事成績 （過去 5年評 定）	(継続教育 （過去 2年（C P D）	ICT の有無 （ICT 活用 工事 の実 施、 週休 2日 の保 証）	災害協 定等 の締 結	ボラン タリー （過 去2 年 度） シッ プ等 の 実 績	作業 船の 保有	
最大評価点	2	2	1	2	2	1	1[2]	2	2	1	16[17]
自己評価点											0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4			
発注者チェック欄											

(備考)

1. 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
2. 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
3. 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
4. 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

工事名

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力			地域貢献度		合計	
	(施工実績 （同種・類似工事） （過去1・5年間））	(工事成績 （過去5年評定））	(工事顕彰 （過去2年度））	(工事成績 （過去5年評定））	(継続教育 （過去2年度） （CPD））	若手・女性 技術者の配置	ICT活用 （工事の実施、 週休2日の確保）	災害協定等 の締結		ボランティア （過去2年度） 等々の実績
最大評価点	2	2	1	2	1	2	1[2]	2	2	15[16]
自己評価点										0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3			様式総合4			
発注者チェック欄										

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度			合計
	(施工実績 （同種・類似工事 （過去1・5年間）	(工事成績 （過去5年度）	(工事顕彰 （過去2年度）	(工事成績 （過去5年度）	(継続教育 （過去2年度） （CPD）	若手・女性 技術者の配置	ICT活用 （工事の実施、 週休2日の確保 無）	災害協定等 の締結	ボランティア （過去2年度） 等々の実績	作業船の 保有	
最大評価点	2	2	1	2	1	2	1[2]	2	2	1	16[17]
自己評価点											0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4			
発注者チェック欄											

(備考)

1. 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
2. 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
3. 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
4. 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度			合計
	(施工実績 指定制 15年間 工事)	(工事成績 5年評 定)	(工事顕彰 2年度)	(施工経験 指定制 15年間 工事)	(工事成績 5年評 定)	(継続教育 2年度 (CPD))	(ICT活用 工事の 実施、 週休2 日の 確保 無)	災害協 定等 の締 結	(ポ ラン ティ ア 等 の 実 績)	主 たる 営 業 所 の 所 在 地	
最大評価点	2	2	1	2	2	1	1[2]	2	2	1	16[17]
自己評価点											0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4			
発注者チェック欄											

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力			技術者の能力				地域貢献度				合計
	(施工実績5年間) (指定工事1種)	(工事成績5年度)	(工事顕彰歴2年度)	(施工経験5年間) (指定工事1種)	(工事成績5年度)	(継続教育(CPD)2年度)	ICT活用工事の実施、週休2日の確保の有無	災害協定等の締結	(ボランティア等) (過去2年度)	主たる営業所の所在地	作業船の保有	
最大評価点	2	2	1	2	2	1	1[2]	2	2	1	1	17[18]
自己評価点												0
対応する技術資料	様式総合2			様式総合3				様式総合4				
発注者チェック欄												

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における[ ]内の数値は、ICT活用工事の「発注者指定型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度		合計
	(過 去 1 ・ 5 年 間 工 事 類 似 工 事 の 実 績 )	(工 事 成 績 評 定 5 年 度 )	(工 事 顕 彰 歴 2 年 度 )	の I C T 、 B I M / C I M 活 用	(過 去 1 ・ 5 年 間 工 事 類 似 工 事 の 経 験 )	(工 事 成 績 評 定 5 年 度 )	(継 続 教 育 2 年 度 C P D )	の 日 I C T 無 保 険 工 事 活 用 の 実 施 証 明 書 2	災 害 協 定 等 の 締 結	(タ ボ ラ ン シ テ ィ ア 等 の 実 績 2 年 度 )	
最大評価点	2	2	1	1	2	2	1	2<1>	2	2	17<16>
自己評価点											0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4		
発注者チェック欄											

(備考)

1. 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
2. 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
3. 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
4. 最大評価点欄における〈 〉内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度			合計
	(過同施工 去種実績 1・績 5類 年間 工事)	(過工事 去成績 5績 年評 定)	(過工事 去顕彰 2年 度)	の I 活 C 用 T 、 B I M / C I M	(過同施工 去種経験 1・験 5類 年間 工事)	(過工事 去成績 5績 年評 定)	(過継続 去教育 2年 度) (C P D)	の日 I 有確 C 無保 T 工事活 用 の工 事 実 施 証 明 書 2	災害協 定等 の締 結	(過タ 去ー 2ラ 年ン 度シ テ ィ プ ア 等 の 実 績 ン	作業船 の保 有	
最大評価点	2	2	1	1	2	2	1	2<1>	2	2	1	18<17>
自己評価点												0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4			
発注者チェック欄												

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における〈 〉内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度		合計
	(施工実績 1・5年 間)	(工事成績 5年 度)	(工事顕 彰 歴 2 年 度)	の I C T 活 用 、 B I M / C I M	(工事成績 5年 度)	(継続教育 2年 度)	若 手 ・ 女 性 技 術 者 の 配 置	の I C T 有 保 無 工 事 の 実 施 、 週 休 書	災 害 協 定 等 の 締 結	(ボランティア 2年 度 等 の 実 績)	
最大評価点	2	2	1	1	2	1	2	2<1>	2	2	17<16>
自己評価点											0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4		
発注者チェック欄											

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における〈 〉内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度			合計
	(過 去 1 5 年 間) 同 種 類 工 事 の 実 績	(過 去 5 年 度) 工 事 成 績 評 定	(過 去 2 年 度) 工 事 顕 彰 歴	の I C T 、 B I M / C I M 活 用	(過 去 5 年 度) 工 事 成 績 評 定	(過 去 2 年 度) 継 続 教 育 (C P D)	若 手 ・ 女 性 技 術 者 の 配 置	の I C T 活 用 工 事 の 実 施 証 明 書 2 有 無	災 害 協 定 等 の 締 結	(過 去 2 年 度) タ ボ ラ ン シ テ ィ プ ア 等 の 実 績	作 業 船 の 保 有	
最大評価点	2	2	1	1	2	1	2	2<1>	2	2	1	18<17>
自己評価点												0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4			
発注者チェック欄												

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における< >内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
 商号又は名称  
 代表者氏名  
 連絡者  
 氏名  
 電話番号

### 技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度			合計
	(施工実績 15年間) (指定工事) (過去1年)	(工事成績 5年) (過去5年)	(工事顕彰 2年) (過去2年)	のICT、 BIM/ CIM 活用	(施工経験 15年間) (指定工事) (過去1年)	(工事成績 5年) (過去5年)	(継続教育 2年) (CPD) (過去2年)	の有無 ICT活用 工事の実施 証明書2	災害協定等 の締結	(ボランティア 2年) (シニア等 の実績)	主たる営業所 の所在地	
最大評価点	2	2	1	1	2	2	1	2<1>	2	2	1	18<17>
自己評価点												0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4			
発注者チェック欄												

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における〈 〉内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望 I 型」における最大評価点。

山形県知事 殿

工事名

住所  
商号又は名称  
代表者氏名  
連絡者  
氏名  
電話番号

技術資料に係る自己評価申請書

[二重線の枠内を記入のこと。]

評価項目	企業の能力				技術者の能力				地域貢献度				合計
	(施工実績15年間)	(工事成績5年評定)	(工事顕彰2年度)	ICT、BIM/CIMの活用	(施工経験15年間)	(工事成績5年評定)	(継続教育2年度)	ICT活用の実証、週休2日の確保	災害協定等の締結	ボランティア等の実績	主たる営業所の所在地	作業船の保有	
最大評価点	2	2	1	1	2	2	1	2<1>	2	2	1	1	19<18>
自己評価点													0
対応する技術資料	様式総合2				様式総合3				様式総合4				
発注者チェック欄													

(備考)

- 自己評価点は、当該点と入札価格により算定される評価式による評価値により、落札候補者決定の基礎となる順位付けが行われることに留意し、記載すること。
- 自己評価点は、発注者が落札者を決定するにあたって、提出された技術資料を基に審査する際の各評価項目毎の評価点の上限値となるので、入札公告、入札説明書及び「総合評価落札方式運用ガイドライン」等により評価項目並びに評価基準を十分確認の上、遺漏のないよう留意し記載すること。
- 技術資料等の様式は、「総合評価落札方式運用ガイドライン」によること。なお、様式は県HPからダウンロードが可能である。
- 最大評価点欄における< >内の数値は、BIM/CIM活用工事の「施工者希望I型」における最大評価点。

商号又は名称

代表者氏名 様

部局長（総合支庁長）名

### 技術資料審査結果に係る説明書

説明要求のありました簡易Ⅱ型総合評価落札方式（事後審査）における、自己評価点と入札結果に示された加算点との相違に係る審査内容は以下のとおりです。

工事名		〇〇〇〇工事		
評価項目		自己評価点	加算点	審査内容
企業の能力	施工実績			
	工事成績評定			
	工事顕彰歴			
	ICT, BIM/CIM の活用			
技術者の能力	施工経験			
	工事成績評定			
	継続教育(CPD)			
	若手・女性技術者の配置			
	ICT活用工事、週休2日確保工事の実施証明書の有無			
地域貢献度	災害協定等の締結			
	ボランティア等、インターシップ <sup>®</sup> 等の実績			
	災害復旧工事の受注の実績			
	道路除雪業務の実績			
	主たる営業所の所在地			
	作業船の保有			

(備考)

申請者の自己評価点と入札結果に示された加算点に相違があり、申請者より説明を求められた評価項目についてのみ記載すること。

# 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_

予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円

基準評価値 (標準点/予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点											品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価 格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度															加算点 計 (b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インテン シップ等	災害復旧 工事	道路除雪 業務												
1																									
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点/予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点												品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度																加算点 計 (b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インターン シップ等	災害復旧 工事	道路除雪 業務	作業船 保有												
1																										
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	



## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点/予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点												品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価 格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度																加算点 計 (b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	工事 成績	継続 教育	若手・女性 技術者	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インターン シップ等	災害復旧 工事	道路除雪 業務	作業船 保有												
1																										
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点/予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点												品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度																加算点 計 (b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インターン シップ等	災害復旧 工事	道路除雪 業務	主たる 営業所												
1																										
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	



## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点/予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点												品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査
番号	入札者		企業の能力				技術者の能力				地域貢献度														
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	ICTの 活用等	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インター シップ等	災害復旧 工事	道路除雪 業務											
1																									
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	











## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点/予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点										品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価 格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度														加算点 計(b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インター シップ等													
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点 / 予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点										品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価 格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度														加算点 計(b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インター ンシップ等	作業船 保有												
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点 / 予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点										品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価 格	評価値 (A) / (B) 又は (C) × 1 百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力			地域貢献度			加算点 計 (b)											
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	工事 成績	継続 教育	若手・女性 技術者	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インター シップ等												
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点 / 予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点										品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価 格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度														加算点 計(b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	工事 成績	継続 教育	若手・女性 技術者	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インター シップ等	作業船 保有												
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点 / 予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点										品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価 格	評価値 (A) / (B) 又は (C) × 1 百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度														加算点 計 (b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インター シップ等	主たる 営業所												
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名   
 工 事 場 所   
 入 札 日 時   
 調 査 基 準 価 格 (C)

施行番号   
 予定価格 (税抜き)  円  
 基準評価値 (標準点 / 予定価格 (円) × 1 百万)

第 回		標準点 (a)	加算点											品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力			技術者の能力				地域貢献度															加算点 計 (b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランテ ア等、イン ターン シップ等	主たる 営業所	作業船 保有												
1																									
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点 / 予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点										品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価 格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力				技術者の能力				地域貢献度													加算点 計(b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	ICTの 活用等	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ホランテ イ 等、イン ター ン シ ョ ウ 等												
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	



## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点 / 予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点										品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力				技術者の能力				地域貢献度													加算点 計(b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	ICTの 活用等	工事 成績	継続 教育	若手・女性 技術者	実施 証明	災害 協定等	ホランテイ 等、インター シップ等												
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点/予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点											品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査	
番号	入札者		企業の能力				技術者の能力				地域貢献度														加算点 計 (b)
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	ICTの 活用等	工事 成績	継続 教育	若手・女性 技術者	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インテ ンション等	作業船 保有												
1																									
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									

- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	

## 入 札 結 果 ( 事 後 審 査 )

工 事 名 \_\_\_\_\_  
 工 事 場 所 \_\_\_\_\_  
 入 札 日 時 \_\_\_\_\_  
 調 査 基 準 価 格 (C) \_\_\_\_\_

施行番号 \_\_\_\_\_  
 予定価格 (税抜き) \_\_\_\_\_ 円  
 基準評価値 (標準点/予定価格 (円) × 1 百万) \_\_\_\_\_

第 回		標準点 (a)	加算点											品質等 確実点 (c)	技術 評価点 (a+b+c) (A)	入札価格 (B) 円	予定価格 ≥ 入札価格	入札価格 ≥ 調査基準 価格	評価値 (A)/(B) 又は(C) ×1百万	評価値 ≥ 基 準 評価値	順位	備考	技術資料 審 査	入札参加 資格審査
番号	入札者		企業の能力				技術者の能力				地域貢献度													
			施工 実績	工事 成績	工事 顕彰	ICTの 活用等	施工 経験	工事 成績	継続 教育	実施 証明	災害 協定等	ボランティア 等、インテ- ンship等	主たる 営業所											
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								

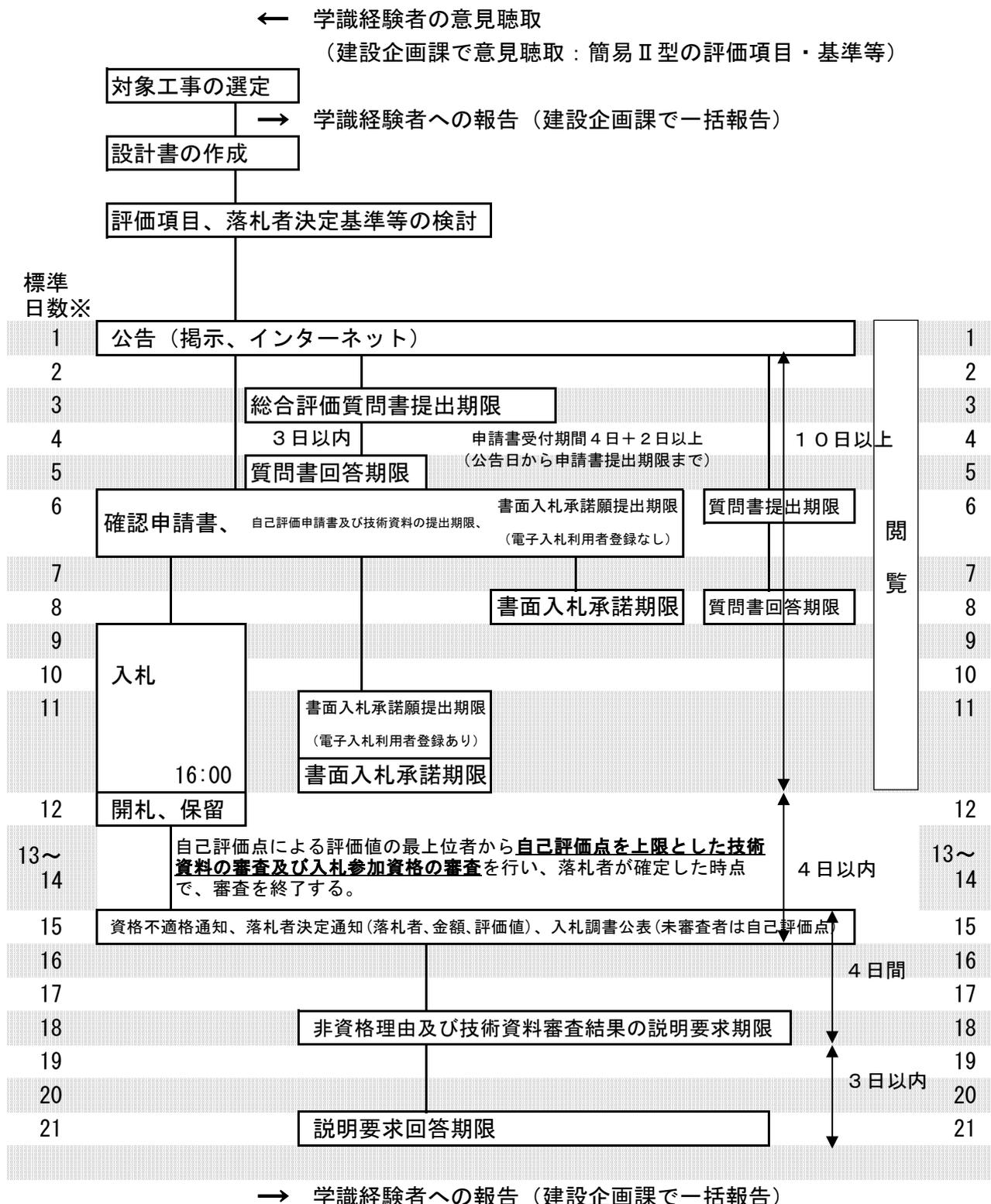
- (注) 1 落札金額は、上記の金額に消費税及び地方消費税を加えた額とする。(円未満切捨て)  
 2 評価値の表示は、切り捨てにより小数点以下3桁とするが、同値により落札者が判定できない場合は判定できる桁まで表示する。  
 3 入札参加者の評価値算出において、入札価格が調査基準価格を下回る場合は調査基準価格を用いて算出する。  
 4 本案件は、簡易Ⅱ型総合評価落札方式で、開札後に落札候補者のみについて、入札参加資格及び自己評価点を上限値とした技術資料の審査を行う事後審査方式である。  
 このため、「技術資料審査」及び「入札参加資格審査」欄の表記内容は下表の通りである。

表記	「技術資料審査」	「入札参加資格審査」
○	審査の結果加算点に修正なし	審査の結果入札参加資格あり
×	審査の結果入札参加資格なし	審査の結果入札参加資格なし
※	審査の結果加算点を修正	
“空欄”	未審査	未審査
申請書なし	「自己評価申請書」未提出	



簡易Ⅱ型総合評価落札方式における事後審査の手続

1 設計金額5千万円未満の建設工事の標準モデル

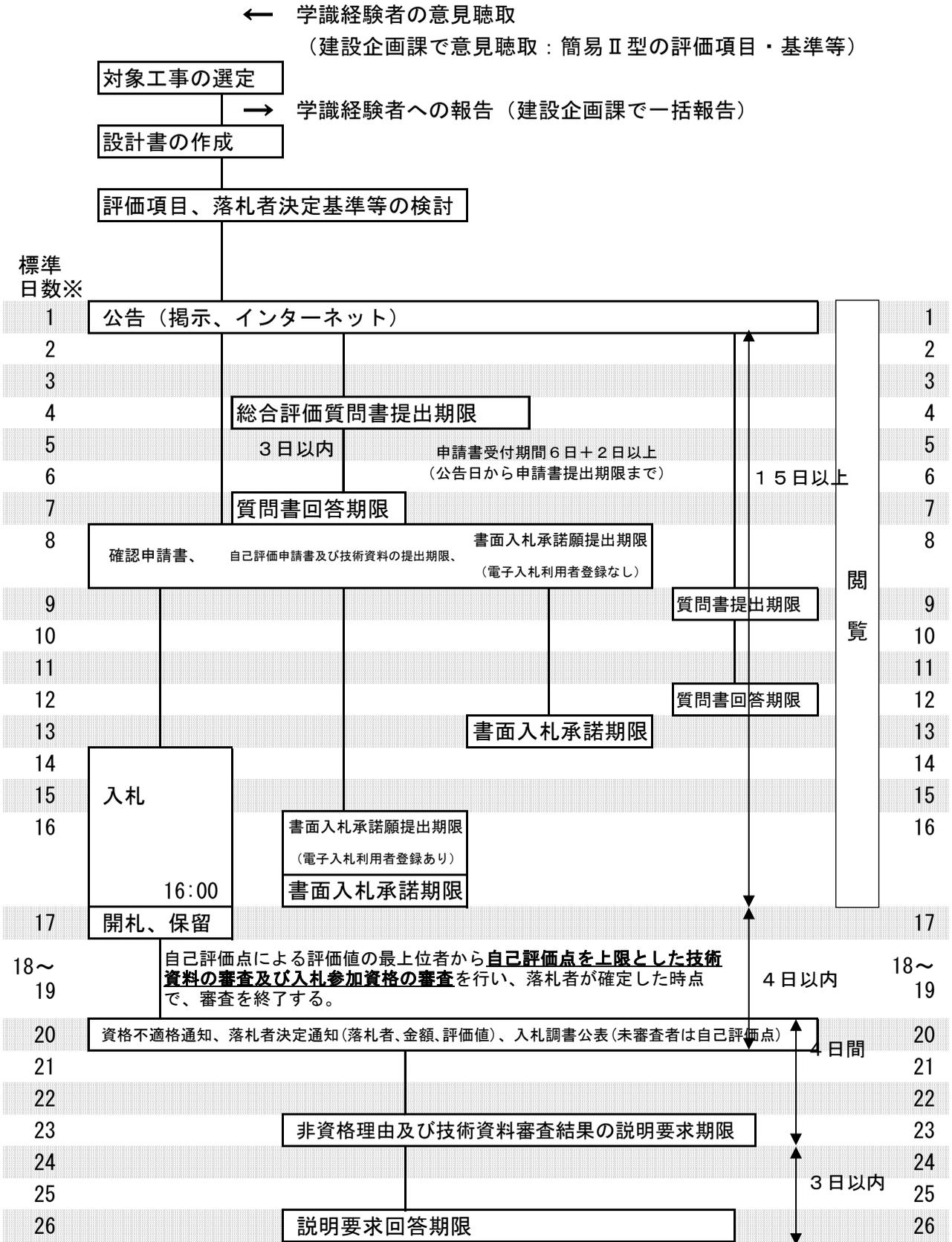


注1) 工事の内容、規模等により適宜設定のこと。

注2) ※は、県の休日を除く。

簡易Ⅱ型総合評価落札方式における事後審査の手続

1 設計金額5千万円以上10億円未満の建設工事の標準モデル



注1) 工事の内容、規模等により適宜設定のこと。

注2) ※は、県の休日を除く。

簡易Ⅱ型総合評価落札方式における事後審査の開札後のフロー

